

## NEWS RELEASE

2014年12月25日  
ネットムーブ株式会社  
日本セーフネット株式会社

### 国内初の IC カード(EMV)モバイル決済ゲートウェイ型サービス SaAT ポケレジ(サート・ポケレジ)に SafeNet の HSM(ハードウェア セキュリティ モジュール)を採用してサービス提供開始

ネットムーブ株式会社(東京都千代田区、代表取締役 澤田 富仁、以下:ネットムーブ)は、日本セーフネット株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長:酒匂潔 以下:セーフネット)の、PCI-HSM に準拠した HSM(ハードウェア セキュリティ モジュール)を、「SaAT(サート)ポケレジ」の IC カード(EMV)対応サービスに採用し、2014年12月25日にサービスを提供開始したことを共同発表いたします。

#### 【継続課金にも対応、スマートフォンやタブレットで利用可能な決済サービス 「SaAT ポケレジの IC カード(EMV)対応版サービスを開始】

ネットムーブが提供開始する「SaAT ポケレジ」の IC カード(EMV)対応サービスは、既存の磁気ストライプのクレジットカードだけでなく、よりセキュリティの高い IC カード(EMV)にも対応した国内初のモバイル決済ゲートウェイ型サービス(mPOS)です。小売店や毎月の継続課金(月謝払い等)を主とするサービス業など様々な環境で利用できる iOS や Android デバイスによるスマートフォン決済サービスを、IC カード(EMV)によるセキュアな環境で提供することで、利用者の安全性と利便性の向上を図ります。 また、これらのサービスは既存の決済事業者様にもご利用いただける様にモバイル決済ゲートウェイ型モデルでのご提供も可能としています。

#### 【背景:東京オリンピックに向けたクレジットカードにおけるセキュリティニーズの高まり】

IC カード(EMV)化の大きな動きとして、近年のクレジットカード業界におけるセキュリティ強化があります。その背景として磁気ストライプ型のクレジットカードを狙った不正使用の拡大があります。一般社団法人日本クレジット協会の調査によると、2014年上半期に発生したクレジットカード不正使用の被害額は51.1億円にのぼります。これは、磁気ストライプ型のクレジットカードには決済に必要な情報(PAN:カード会員番号、有効期限、カード会員名)が入力されており、スキミングで比較的容易に偽造カードが生成しやすいからです。

こうした背景を基に、2014年7月、経済産業省が、2020年開催の東京オリンピックを見据え、国内で流通するすべてのクレジットカードを、より安全性の優れた IC 付きクレジットカードに移行する

目標を掲げました。今後、クレジットカードのセキュリティ要求の高まりと、IC 付きクレジットカードの普及、そして、より安全な環境で利用できる決済サービスへの需要が高まる事が予想されます。

## 【SafeNet HSM により鍵管理をよりセキュアな環境で実現】

SaAT ポケレジは、決済トランザクション毎に異なる暗号鍵を使用する「DUKPT」プロトコルを採用。決済センターには PCI-HSM を取得しており、DUKPT を標準サポートしている SafeNet の HSM(ハードウェアセキュリティモジュール)である Luna EFT を採用しました。

LunaEFT は DUKPT インターフェースを提供するとともに各鍵を安全に登録、保護、アプリケーションが利用する各種 API を提供します。暗号化されたクレジットカード情報がスマートフォン上で復号化されたり、データが保存されることはありません。

日本セーフネットの代表取締役、酒匂潔は次のように述べています。「PCI-HSM の認定を取得し、標準で DUKPT 技術にも対応している SafeNet の HSM において、迅速に MIURA の端末専用 API の開発を行い対応できたことは、我々にとっても大きな自信につながりました。2020 年の東京オリンピックに向け、経済産業省を中心として IC クレジットカード決済のセキュリティ向上が目標としてかかげられておりますが、ネットムーブとの強力なパートナーシップにより、業界の一翼を担えることに興奮を覚えています。

SafeNet は今回の SaAT ポケレジの決済システム向けに、HSM とともに導入支援サービスと MIURA 端末向けの API を提供することで短期間でシステム開発を可能にしました。

## 【mPOS 端末は、世界中に実績を持つ MIURA Systems の端末を採用】

モバイル決済サービスに使用する mPOS 端末には、イギリス オックスフォードに本社を構え、全世界で数十万台の導入実績を持つ MIURA Systems の端末を採用しています。高機能な mPOS 端末をスマートフォン決済で手軽にご利用いただけます。さらに、mPOS 端末を操作・管理するアプリ側には、セキュリティチェック機能として「SaAT Secure Starter(サート・セキュアスターター)」を標準搭載しています。多くの金融機関に採用されているスマートフォン向けセキュリティ機能で、ご利用時に端末の安全を確認してから、安心してスマートフォン決済をご利用になれます。

ネットムーブ株式会社 代表取締役 澤田 富仁 コメント

社会インフラとしての決済端末の IC 化は急務であり、弊社としては他社に先駆けて EMV 対応の mPOS サービスをリリースしたいと考えていました。IC カード決済では様々な種類の暗号、認証、署名鍵を扱うこととなりますが、セーフネット HSM の多彩な API を利用することで迅速にサービス\*\*をリリースすることができました。両社のソリューションを利用したセキュアな決済スキームで IC 化対応の市場ニーズに対応していきたいと考えています。

ネットムーブは、スマートフォンによる決済を導入する企業や、mPOS 端末の自社提供を望む決済代行事業者やクレジットカード会社に対し「SaAT ポケレジ」の導入を提案し、(3 年後には決済取扱高 720 億円を目指します)。また、今後も「SaAT ポケレジ」とあわせ、インターネットを安心して利用できる様々なセキュリティソリューションを提供していきます。

## MIURA Systems からのエンドースメント

MIURA Systems は mPOS マーケットにおける革新的なセキュアな端末を提供するグローバルリーディングカンパニーです。MIURA Systems では世界の各マーケットにおいてソフトウェアベンダーやシステムインテグレータと協力して小売業、接客業、金融機関、交通系マーケットで革新的なユーザ体験を提供してきました。

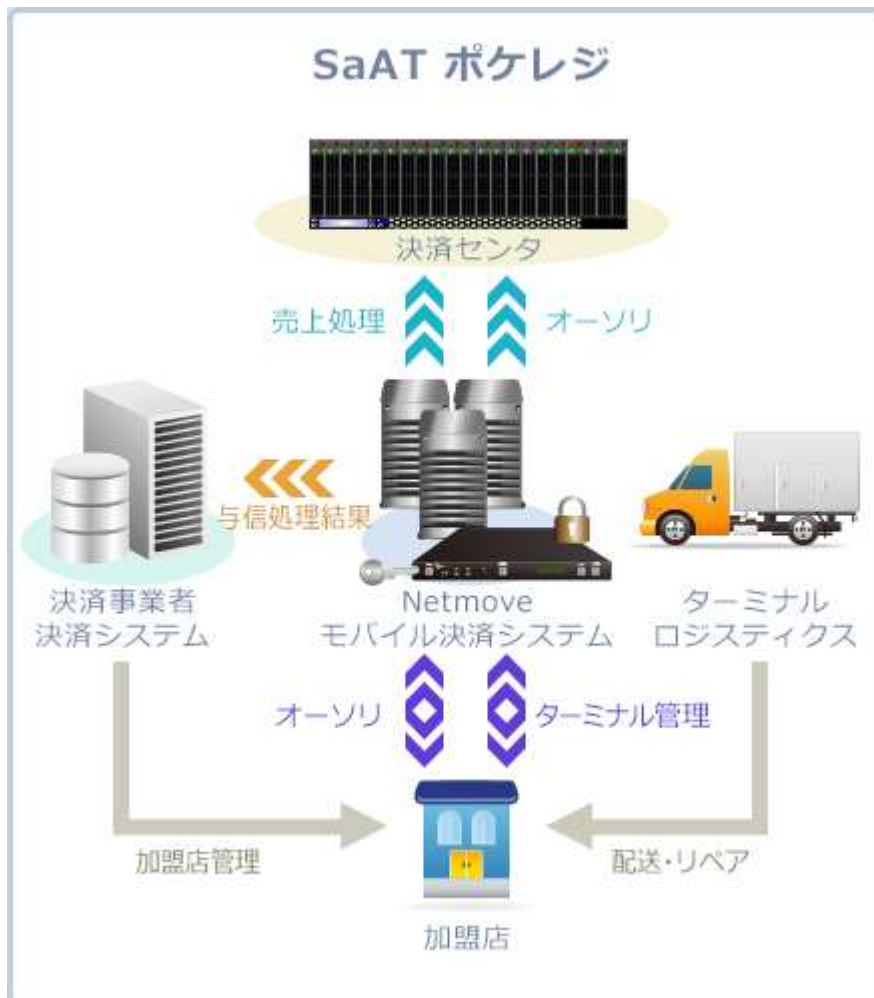
このたびは、ネットムーブとセーフネット、両社のセキュアな決済ソリューションと MIURA Systems の端末によって日本の決済市場の進化に寄与できることを歓迎します。

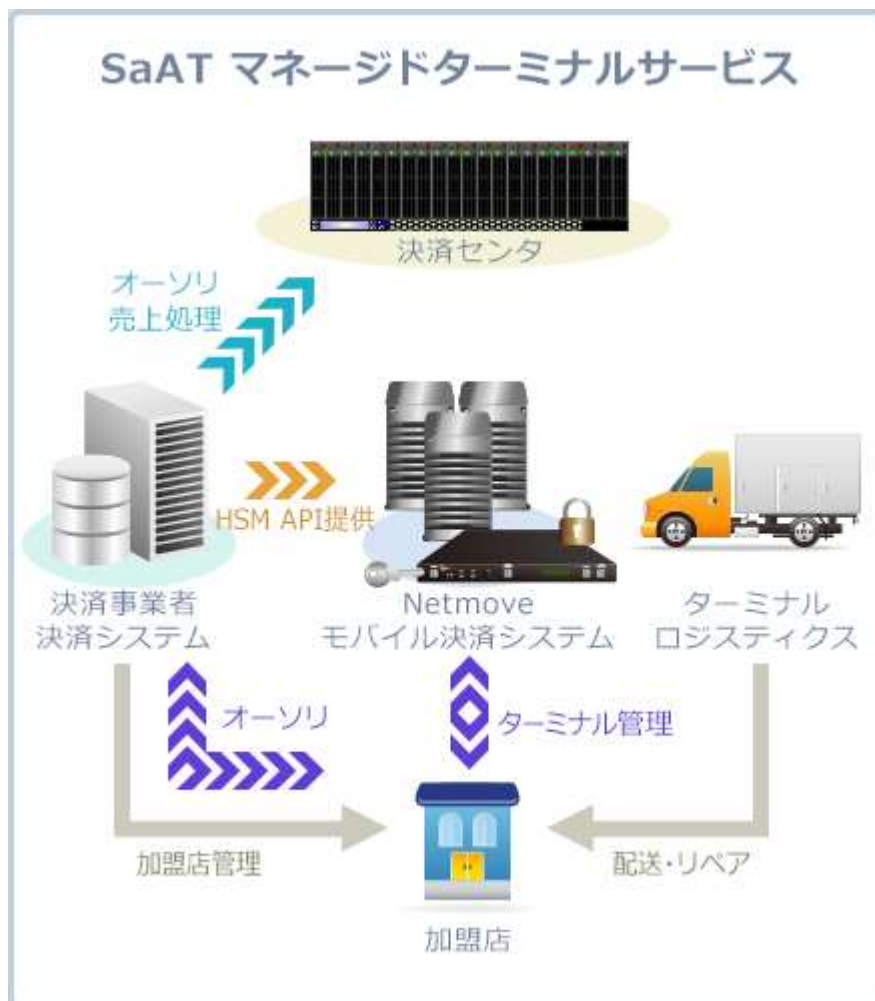
MIURA Systems について [www.miurasystems.com](http://www.miurasystems.com)

Miura Systems Ltd. CEO Ian Rutland

今回リリースするサービスでは 2 種類の提供形態で販売して参ります。

- ・SaAT ポケレジ: EMV 端末とスマホアプリを用いた決済スキームをフルセットでご提供
- ・SaAT マネージドターミナルサービス: 既存の決済事業者様の決済スキームを利用いただくことを前提とした EMV 端末の決済鍵管理を含めたマネージドサービス





#### 参考資料

- ・SafeNet の決済用 HSM について:  
<http://www.safenet-inc.jp/data-protection/hardware-security-modules/payment-hsms/>
- ・ネットムーブ株式会社 SaAT ポケレジ紹介ページ:  
<http://www.saat.jp/pocketregi/>

#### ネットムーブ株式会社について

ネットムーブ株式会社 (<http://www.netmove.co.jp> 代表取締役社長: 澤田 富仁、本社: 東京都千代田区) は決済代行サービスおよびセキュリティサービスのプロバイダーとして日本国内で 100 社を超える金融機関様をはじめとするお客様に対して製品、サービスを提供しています。

#### SafeNet, Inc.について

1983 年設立。SafeNet は情報セキュリティ業界の世界的なトップ企業で、グローバル企業の最も重要なデータを保護し、信頼を得ています。SafeNet は、お客様の貴重な情報を、データセンターからクラウドまで、情報ライフサイクル全般にわたり保護しています。現在、25,000 を超える企業や政府機関が [情報セキュリティの保護](#)、リスク管理、[コンプライアンス管理](#)、仮想化・クラウド環境の保護を SafeNet に委ねています。

#### 日本セーフネットについて

日本セーフネット株式会社 (<http://jp.safenet-inc.com> 代表取締役社長:酒匂 潔、本社:東京都港区)は、米国 SafeNet, Inc.の日本法人で、2001 年の設立以来、ネットワークやアプリケーションのセキュリティ製品の日本国内での販売、マーケティング、サポートを提供しています。

[Twitter](#), [LinkedIn](#), [Facebook](#), [YouTube](#), [Google+](#) をご覧いただくと SafeNet の詳細情報を入手できます。

SafeNet、SafeNet ロゴは SafeNet, Inc.の登録商標です。その他の商標はすべて、各所有者の財産です。

©2010 SafeNet, Inc. All rights reserved. SafeNet is a registered trademark of SafeNet, Inc. All other products and brand names mentioned in this document are trademarks or registered trademarks of their respective owners.

---

**本件に関するお問い合わせ先**  
ネットムーブ株式会社  
ITC 事業部

TEL: 03-6380-8911

E-Mail: [pocketregi-support@netmove.co.jp](mailto:pocketregi-support@netmove.co.jp)

**本件に関するお客様からのお問い合わせ先**  
日本セーフネット株式会社

TEL: 03-5776-2751

E-Mail: [jp-info@safenet-inc.com](mailto:jp-info@safenet-inc.com)

**本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先**  
日本セーフネット PR デスク  
(株式会社アクティオ内)

TEL : 03-5771-6426 FAX : 03-5771-6427

E-mail: [safenet-pr@actioinc.jp](mailto:safenet-pr@actioinc.jp)